



◎日中はクロムツがよく釣れた



▲慣れた人は追い食いを狙って数をのばしていた
▼クロムツを持つときは鋭い歯に気を付けよう



▲オモリが軽いので、積極的に誘う攻めの釣りも可能



▲船べりにセットしたマグネット板にエサを付けたハリを並べ、ミヨシから順番に投入するスタイル

◀マグネット板は無料貸し出し
▼仕掛けは胴つき5~8本バリ、使用オモリ150号



◀▲クロムツは30~35センチ級主体

▲シロムツも交じる



◎主な釣り場は港前から真鶴沖の水深180~300メートル前後
◀魚探をのぞくと底から20メートルくらい上まで反応がビッシリ



▲キンメは30センチ前後がアベレージ

キンメ&クロムツの近場で手軽に深海釣り

★水深180メートルを流した最初の投入でキンメがダブル、トリプルで上がった

▼釣れた魚は水氷を張ったクーラーに入れて、しっかり冷やして持ち帰ろう



◀おいしいキンメやクロムツはアフターフイッシングも楽しみ
▶メダイも上がった



◎船宿の受付でおかみさんたちが笑顔で迎えてくれる
▶釣り座に氷とエサのサバの切り身が用意されている

冬になると注目度が高まるターゲットの一つが、キンメダイやクロムツ(ムツ)といった深海の根魚。ひとくちに深海釣りといっても、釣り場や地域により道具立ては様々だが、取材した相模湾小田原早川港・平安丸の根魚五目乗合は、オモリ150号の胴つき仕掛けとピシアジアやイカ用などのライトなタックルで手軽に楽しめるのが特徴。加えて、港から数分走ったポイントで200メートル以上の深海に達する急深な地形を擁する当地は、比較的近場でキンメやクロムツが狙えるため深海釣り入門にも最適だ。(詳細は56ページ参照)



◎相模湾小田原早川港・平安丸 小林 哲郎船長